

東京都との包括連携協定「ワイドコラボ協定」の締結について

東京海上日動火災保険株式会社（社長 北沢 利文、以下「当社」）は、東京都と複数の政策分野にわたり包括的・横断的な連携・協力を行っていく「ワイドコラボ協定」を本日締結しましたので、お知らせ致します。

当社と東京都は、これまでも「外国人おもてなし語学ボランティア事業（※1）」や「みどりの授業（※2）」といった環境啓発の取組みを通じて、官民連携の実績を積み重ねてまいりました。

今般、防災・防犯、健康・福祉、産業振興等、多岐に亘る東京都の政策課題について、双方が持つ様々な資源を活用することで、より一層効果的かつ効率的に解決していくことが可能になると考え、以下の9つの項目について、包括連携協定を締結することと致しました。

（※1）外国人観光客等が安心して東京に滞在できる環境を整えるため、困っている外国人を見かけた際に、手助けができるボランティアを育成する事業。当社では新入社員を中心に、企業内研修の一環として「おもてなしの心」と「英語」を学ぶ東京都指定の育成講座を積極的に受講しています。

（※2）当社の「マングローブ植林活動」を題材に、地球温暖化防止や生物多様性の保全等について、楽しみながら学んでいただく小学生向けの出張授業。

東京都との9つの連携項目

- （1）健康増進に関すること。
- （2）文化及びスポーツ振興に関すること。
- （3）地域の安心安全に関すること。
- （4）環境に関すること。
- （5）ライフ・ワーク・バランス及び女性の活躍推進に関すること。
- （6）中小企業支援に関すること。
- （7）防災・減災に関すること。
- （8）子育て及び高齢者支援に関すること。
- （9）その他、地域社会の活性化及び都民サービスの向上等に関すること。

今後、当社が国内外の保険事業を通じて培ったリスクに関する専門知識や、グループ会社の幅広い事業展開により蓄積したノウハウ等の活用方法について、具体策の検討を進めてまいります。

例えば、「健康増進」に関しては、健康経営に取り組む企業を支援するためのサービス提供やセミナーの開催に取り組んでおり、これらの取組みによりお役に立てるものと考えております。

「防災・減災」や「地域の安心安全」に関しては、自然災害やサイバー攻撃等の発生を踏まえ、皆さまの「いざ」をお守りするためのサービスやノウハウを広く提供することで、安心・安全の確保に貢献したいと考えております。

「中小企業支援」に関しては、インバウンド需要や海外需要を着実に取り込んでいくための経営支援や、事業継続計画（BCP）の策定支援などのノウハウを活用することで、世界に開かれた活力ある都市の実現に寄与したいと考えております。

「高齢者支援」に関しては、介護事業を展開する当社グループ会社による各種情報提供を通じて、高齢者が安心して暮らせる社会の実現をサポートしたいと考えております。

スポーツ振興に関しては、今年4月にオープンした当社の情報発信拠点（チャレンジスクエア）等を活用し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた機運の醸成に貢献していきたいと考えております。

この度のワイドラボ協定の締結を、当社のサービスやノウハウをより多くの方々にお届けし支援させていただくための好機と捉え、東京都と様々な社会的課題の解決に向けて協業することで、「地域社会の一層の活性化」と「都民サービスの更なる向上」に貢献してまいります。

| |
|--|
| 東京海上日動は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ゴールドパートナー（損害保険）です。 |
|--|

以上